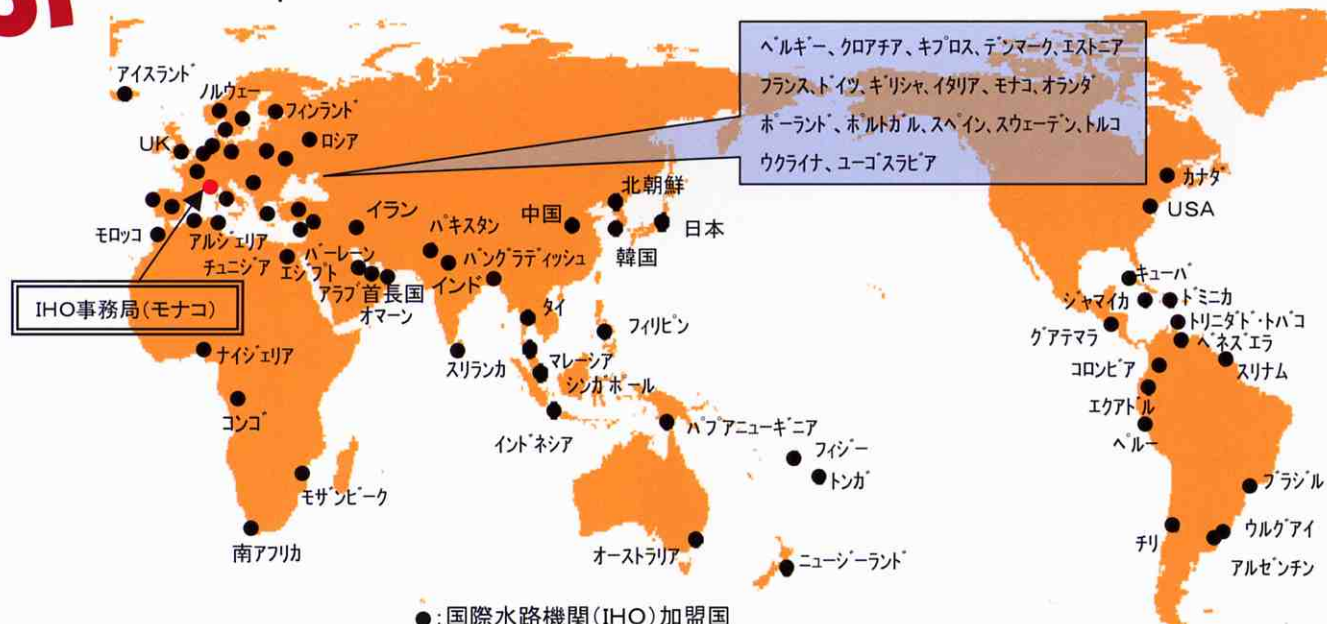


国際化社会、グローバルな視点にたち
世界への連帯の輪がますます広がる

国際協力

ユネスコの下部機関である政府間海洋学委員会（IOC）のメンバーとして国際共同調査や海洋データ・情報の国際的交換に参加しています。

さらに、海外技術協力として毎年開発途上国の技術者を受け入れ、各種の研修による技術移転を行うと共に、開発途上国からの要請に応じて技術者を派遣し、水路業務の発展に貢献しています。



国際水路局



海外技術研修（水路測量コース）

国際水路機関

国際水路機関（IHO）は「海図」や海の案内書である「水路誌」などの航海用刊行物を改善し、世界的な航海をより容易にかつ安全にすることを目的として、「国際水路機関条約」に基づき1967年（昭和42年）に設立された国際機関です。

2001年末現在70カ国が加盟しており、その事務局として国際水路局がモナコ公国におかれています。

海外技術協力

水路業務に従事する海外の技術者のレベル向上のための研修として、「水路測量（国際認定B級）コース」（約7ヶ月）を毎年開催しています。この研修により、これまでに291名の水路測量技術者を養成し、各国の海図の精度向上に寄与しています。

また、開発途上国に対する技術協力として、フィリピン、モーリシャス、フィジーなどに短期、長期で専門家を派遣し、水路測量技術、電子海図作成技術など各国の水路業務の発展に貢献しています。